

# 平成24年度 成果報告会

## 頭脳循環を加速する

# 若手研究者戦略的海外派遣プログラム

日時：平成24年 8月21日（火） 15:00～16:00

場所：お茶の水女子大学 大学本館 103室  
（生活科学部会議室）



谷 真理子 (Mariko Tani, PhD)

お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科研究院研究員

派遣先： Human Nutrition Research Center on Aging,  
Tufts University (Boston, MA, USA)

研究テーマ： 動脈硬化に予防的に働くHDL(高比重リポ蛋白)  
の構造・代謝に関する研究

米国ボストンにあるタフツ大学で、「動脈硬化に予防的に働くHDL(高比重リポ蛋白)の構造・代謝に関する研究」を行っています。Prof. Ernst ShaeferとDr. Bela Asztalosが開発したオリジナルの二次元電気泳動装置によってHDL粒子を分離し、構造因子を決定することで、動脈硬化治療・予防の新たなターゲットを探索しています。

また、本プログラムの目的でもある「グローバル研究者の養成」を踏まえて、「グローバルとは何か？」について、日米の大学教育を比較しながら、私自身がボストンで感じたことをお話してみたいと思います。

『頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム』や、海外での研究・生活環境に興味のある方は、ぜひご参加ください。

### お問合せ

生活環境教育研究センター近藤研究室 (TEL: 03-5978-5812)

事前申し込みは不要です。多数のご参加をお待ちしております。